

# 日本共産党 中野区議団ニュース

11月号 2016年11月1日

中野区中野4-8-1

中野区役所内控室

TEL 3228-8873 FAX 3389-8657

E-mail mail@jcpnakanoku.net

URL http://www.jcpnakanoku.net/



9月17日に行われた「戦争やだね！ 中野パレード」には300人が参加。日本共産党からは区議団とともに植木こうじ都議、谷川医師が連帯のあいさつを行いました。中野通りを練り歩いたパレードでは、色とりどりの風船やプラカードが楽しげな雰囲気を出していました。

## 区民の願いに応えず 大型開発優先路線と 基金は629億円に

中野区議会第三回定例会は9月9日～10月14日まで開かれました。党議員団は平成27年度決算をはじめ、区の施策を質しました。

### 平成27年度決算への反対討論(旨)

安倍政権が行う「アベノミクス」は、円安や株高で大企業や大資産家のもうけを増やすだけで、国民生活を潤すものにな

っていないのは各種統計で明らかです。勤労者の実質賃金が5年連続マイナスとなり、年収200万円以下のワーキングプア(働く貧困層)が3年連続1100万人を超え、非正規労働者は38%に増加しました。特に若い世代ほど非正規雇用が増えているのは将来社会にとってとりわけ深刻なものになっていきます。

中野区は「住民の福祉向上」の立場で、区民の切実な願いに応えていく姿勢こそがいま求められています。

### 区政史上最高の基金残高629億円に

反対の理由第1に、この年度もささやかな区民要望に応えず、巨額の積み立てを行ったことです。決算年度は区政史上最高額の174億700万円

余の基金積み立て等を行った結果、基金残高は一般会計ベースで約629億円にもなりました。この5年間、教育、障害、高齢者分野等での事業切り下げは行う必要がなかったうえ、区民の切実な願いに応えることは十分に可能だったのではないのでしょうか。

例えば、準要保護者への就学援助の支給時期の前倒しや、給付型奨学金制度の創設、木造住宅の耐震補強への助成など防災対策の拡充、若者や高齢者の住まい確保における支援は実施できたのではないのでしょうか。保育園の待機児対策においては評価できる一方で、園

庭など保育環境を充実した認可保育園の増設を区の責任で行い、待機児ゼロにすべきではなかったのではないのでしょうか。決算年度では児童館を

含めた子ども施設の来館者数は3万人増加し、こうした施設の役割はいつそう高まっていることが明らかになりました。それにもかかわらず「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」では児童館・U18プラザの廃止、区立幼稚園の廃止、区立

保育園のいっそうの民営化、区有施設の売却などの方針を打ち出したのは問題といえます。

### 不要不急の大型開発へ 区負担額が膨張

第2に、これまで以上に、不要不急の大型開発優先に踏み出すものとなりました。中野駅周辺まちづくり費の支出済額は27億円にもなりました。さらに、中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備では

区の負担額は当初の71億円から119億円に膨れ上がりました。この区負担額膨張の根拠の検証について、中野区は中野駅周辺の開発当事者であるUR都市機構に検証させていることも明らかになりました。このこと自体疑念を抱かざるを得ません。

区民合意のない 平和の森再整備を強行 第3に、平和の森公園の再整備についてです。当初予算議決後に、第1次補正予算にて関連予算を計上し、平和の森公園再整備基本構想・基本計画策定等で約2230万円が決算値となりました。概算整備費については、新しい中野をつくる10か年計画(第3次)で55億円と示されていたものが、倍近い108億円となったことが示されました。中野区はこれまでの長年にわたる同公園の歴史的な経緯をないがしろにしており、区民合意がないままに再整備を強引に進める姿勢は認めるわけにはいきません。

### 国保料は 13年連続の値上げ

国民健康保険事業特別会計では、国民健康保険料は均等割額で1500円の引き上げを行い、13年連続で保険料を引き上げました。中野区内でも、約3世帯に1世帯が保険料を滞納しており、払いたくても払えない状況が生まれていました。「高すぎる保険料」の問題を解決しようという区の姿勢が不十分と言わざるを得ません。

### 第3回定例会での主な議案・陳情に対する各会派の態度

(賛成○、反対×)

件名	日本共産党	自民	公明	民進
安保法制に基づく自衛隊の南スーダン派遣中止を求める意見書	○	×	×	○
中野区新体育館建設計画並びに平和の森公園再整備計画の進行を一旦止めることについて	○	×	×	×
区立幼稚園存続を願うことについて	○	×	○	○
区立幼稚園の存在意義について再検討を願うことについて	○	×	○	○

### ★無料法律相談★

◇11月 9日(水)

◇11月23日(水)

毎月第2、第4水曜日に弁護士が相談にのります。予約が必要です。区議団事務局まで。



今年1月、「新しい中野をつくる10か年計画（第3次）（改定素案）」において、唐突に区立幼稚園を廃止する方針が示されました。多くの方が説明会などで見直しを求める声を上げる中、4月に同計画を策定したことはあまりにも拙速であり問題です。この間、区立幼稚園の存続を求める1万3371筆もの署名が集められ、議会にも多く

# 地域・保護者の運動で 「区立幼稚園存続」 陳情を採択

の方々が傍聴にいられています。これだけの保護者の方々、地域の方々の思いに背を向けて「区立幼稚園の役割は終わった」と切り捨て、一方的に廃止を押し付ける区の姿勢を認めるわけにはいきません。区立幼稚園を廃止する計画は直ちに白紙撤回を求める。（10月14日党議員の賛成討論一部から）

## 【浦野さとみ議員】



### 平和の森公園再整備について

緑とひろばをいまのまま残して欲しいという区民・利用者の声は聞き置かれたばかりの姿勢に終始している区の姿勢を質するとともに、108億円という膨れ上がった整備費用については、計画の見直しも含めて区民参加であらためて検討すべきです。

## 【長沢和彦議員】



福祉・教育などの区民施策には冷たい一方で、過高に積み上がった積立金の問題と中野駅周辺の大規模開発について質した。中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備の区負担額がJRの算定で119億円にも膨れ上がったが、この数字の根拠と区の調査を求めた。どれだけ整備費用が膨らもうと区は見直しを求めている。区

## 【広川まさのり議員】



### 安心して子育てできる環境を

待機児童問題では、今年度の待機児童数は257人だが、認可保育園に入れなかった児童数は644人であった事が明らかに。区立保育園における定員削減の見直しや「3歳の壁」対策を求めた。来年度、千人規模の定員増を打ち出しており、進捗状況を問うと「楽観

## 一般質問

### 【羽鳥だいすけ議員】



1. 安心できる介護保険制度を  
来年度から始まる新総合事業により、要支援の方は介護保険制度からは扱われず。そのような中でも利用者と事業者に影響が出ないように求め、質問を行いました。  
Q. 要支援1・2の方の介護報酬の引き下げが行わないべきでは。

## 総括質疑

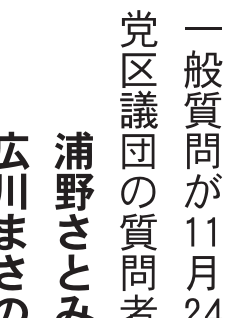
### 【いさ哲郎議員】



1. 区民に寄り添う施策について  
(1) 自殺をなくす取り組みについて  
ゲートキーパー研修の回数を増やすべき。他部署・機関の連携した自殺対策を検討すべき。  
(2) 働き方の問題について  
区としてブラックバイト対策を。

## 総括質疑

### 【いさ哲郎議員】



(3) 生活の困窮について  
「若者サポートステーション」など若い世代に特化した支援事業の検討を。  
2. 急傾斜地の対策について  
区として定期的に急傾斜地の現況調査をすべき。他区で既に実施している擁壁整備の助成について検討を。  
3. ヘイトスピーチについて  
東京都教育委員会作成の資料に差別を生まない教育の必要性について言及がある。これは当区でどう活かされていくのか。

第4回定例区議会は  
一般質問が11月24日からの予定です

浦野さとみ議員と  
広川まさのり議員です

第4回定例会日程(予定)	
11月10日(木)	1時 議会運営委員会
17日(木)	1時 議会運営委員会
24日(木)	11時 議会運営委員会
	1時 本会議(一般質問)
25日(金)	11時 議会運営委員会
	1時 本会議(一般質問)
28日(月)	11時 議会運営委員会
	1時 本会議(一般質問、議案上程)
30日(水)	1時 常任委員会
12月1日(木)	1時 常任委員会
2日(金)	1時 常任委員会
5日(月)	1時 特別委員会(区役所特)
6日(火)	1時 特別委員会(少子高齢特、駅まち特)
8日(木)	10時 議会運営委員会
	1時 本会議(議案等議決)